

診断と心理学的な見立てと課題

講師：河合俊雄（京都こころ研究所 / 当研究所顧問）

心理療法においても、精神医学を学んだり病院実習が義務づけられているように、診断が大切なことは当然である。精神科医の診断とのズレが認められることもある。しかしより重要なのは、クライアントの心理学的な問題や課題を見立てることで、それには生育史だけではなく、イメージによるアプローチが重要になる。診断と心理学的な課題の見立ての違いや、「分離すること」や「アグレッションを出し、創造的なエネルギーに変えること」など様々な心理学的な課題を概説し、事例に沿って心理学的な課題を明らかにしつつ、それがどの程度解決されたかを検討したい。

日時

12/1 (日)

申込締切：11/25 (月)

参加費

11,000円(税込)

(大学院生 5,500円)

AM10:00～PM17:00 (全6時間)

10:00-12:00 ご講演、質疑応答

13:00-14:50 事例検討1

15:00-16:50 事例検討2

16:50-17:00 全体を通しての質問・意見交換

受講資格

- ①心理臨床の実践に（職業として）携わっている
 - ②医師として精神科・心療内科で臨床実践を行っている
 - ③大学院で臨床心理学を専攻している（修士課程/博士課程に在籍）
- 上記のいずれかに該当し、守秘義務を厳守できる方

参加形態

会場出席（ビジョンセンター品川）/オンライン（zoom）
※オンラインの場合は音声での発言はできません

定員

70名（会場出席）

会場

ビジョンセンター品川（品川駅高輪口から徒歩3分）
<https://www.visioncenter.jp/shinagawa/access/>



下記のQRコードにて内容を確認のうえ、申込フォームからお申込みください。

セミナーページ



- ・本セミナーは、事例を募集します。
- ・臨床心理士資格継続研修としてポイントを申請します。

